

経済学部 経済ネットワーク学科における教員養成像

【情報（高等学校一種）】

経済学部では、國學院大學としての人材育成の目的、及び「急速に変化する現代経済とその国際化・グローバリズム化の中にあって、経済と経済学に関する基礎力と日本経済に関する知見を兼ね備え、社会に貢献する専門的教養人を育成すること」という経済学部の人材育成目的に基づいたカリキュラムを展開しています。

経済ネットワーク学科では、この理念を踏まえ、環境問題や地域問題などの問題群を対象にしつつ、ネットワーク＝関係形成の視点に立ち、問題の起きている現場に即して自ら考え問題解決を図ることができる教員を養成しています。

経済ネットワーク学科には、「地球環境と開発」、「地域づくりと福祉」、「情報メディア」の3つのコースがありますが、高等学校「情報」の教員を目指す学生は、とくに情報メディアコースを中心に履修することになります。

このコースは、1年次の「情報システムの基礎」および「コンピュータと情報A/B」、2年次の「情報メディア問題入門」および「情報システム」を基礎科目として、データベース・情報通信ネットワーク・マルチメディアなどの仕組みの理解と活用力が身に付くようカリキュラムを組んでいます。

このようなカリキュラムによって、経済ネットワーク学科では、高校生が情報社会を広い視点から考えられるよう指導できるだけでなく、情報技術に関する実習も指導できる高等学校教科「情報」の教員を養成します。